



《こども版》 としょかんだより No. 335

2012年

# わくわく本だな

7・8月号

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

### 「としょかんねこデューイ」 (えほん)

ヴィッキー・マイロン／作 文化出版局



ある朝、としょかんのへんきやくポストに小さなこねこがすてられていました。デューイと名づけられたこねこは、としょかんでくらすことになり、にんきものになります。アメリカで、ほんとうにあった話です。

### 「トムくんはめいたんてい ① 1ねんせいはめいたんてい」 ★

那須 正幹／作 そうえん社



トムくんのお母さんが、さいふをなくしてこまっていました。「いつものように、すいりして。」とたのまれたトムくんは、さっそくかんがえはじめます。「わかったぞ！」トイレにおちていたさいふをみごとにみつけだしたトムくん。どんなすいりをしたのでしょうか？

### 「あけちゃダメ！」 ★★ 小川 英子／作 新日本出版社



ぼくが牛乳を飲もうと冷ぞう庫を開けると、中から黒い牛が出てきて、こう言いました。「牛乳一ぱい、五百円。」冷ぞう庫の中の牧場にむりやりつれていかれたぼくは、なぜかやまんぼとトランプ勝負するはめに。なんとかここからだっしゅつしなくちゃ！

# あたらしくはいった本

## えほん



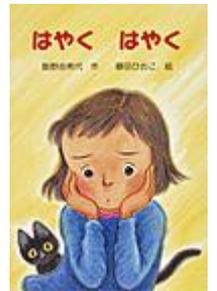
### 「フェリーターミナルのいちにち」

石橋 真樹子／作 福音館書店

フェリーターミナルは、人や車がフェリーにのったりおりたりする海のえきです。「ゴゴゴゴッー」おおがたフェリーがとうちやくしました。おきやくさんがおりると、トレーラーでにもつをはこんだりそうじをしたり、たくさんのごとがあります。

### 「はやくはやく」 ★ 飯野 由希代／作 文研出版

ひかりは、いつもみんなから「はやくはやく」といわれて、あせってしまいます。ずこうのじかん、とうめいなふくろに、「はやく」をたべる「ゆっくりかいじゅう」のえをかきました。すると、ふくろにさわったともだちやママが、「ゆっくりしよう」といいだしたのです。



### 「ぼくのともしなぶた」 ★★

三野 誠子／作 岩崎書店



ともゆきは、お母さんからこわれた土なべをもらいます。ことわざの「われなべにとじぶた」を思い出していると、ふたがぶたに変身してしまいました。くいしんぼうでどじなぶたは、学校にもついてきて大きすぎ。だじゃれやことわざがたくさん出てくる本です。

### 「ネジマキ草と銅の城」 ★★★

パウル・ビーヘル／作 福音館書店

年老いたマンソレイン王は、あと1週間の命でした。診察したまじない師は、「ネジマキ草という薬を手に入れるまで、元気が出る物語を聞かせなさい。」と家来に言います。それを聞いた動物たちが、つぎつぎと城をおとすれ、王にわくわくする物語を語りはじめました。



## ものがたり

「かなと花ちゃん」 ★★★ 富安 陽子／作 アリス館



かなは、原っぱでさびしそうな歌声を聞きました。歌っていたのは、「花代」という日本人形。かなだけにその声が聞こえたのです。本当の持ち主は、花代をわすれていったきり、もう七日もむかえにきません。花代の話聞いたかなは、家につれて帰ることにします。

「アンナとプロフェッショナルズ ① 天才カウンセラーあらわる！」 ★★★  
MAC／作 メディアファクトリー

6年生のアンナは、人の話をじっくり聞くのがとくいです。友だちや先生に天才カウンセラーとみとめられ、なんと有名な殺し屋からも相談を受けます。殺し屋から話を聞くうちに、犯罪組織の黒幕ミスター・フーが自分の父親の命をねらっていることに気づきます。



## ちしきの本

「図解絵本 東京スカイツリー」 モリナガ・ヨウ／作 ポプラ社



今年5月にオープンした世界一のタワー、東京スカイツリー。設計や鉄骨の組み立てなど、58万人もの人が工事にかかわりました。出来上がるまでのようすや、作業するクレーンの中などをわかりやすいイラストでしようかいした本です。

「がんばっぺ! アクアマリンふくしま」  
中村 庸夫／作 フレーベル館

福島県にある水族館「アクアマリンふくしま」は、東日本大震災のとき、電気がとまり、多くの生き物が命をうしないました。職員は、なんとかして生き残った命をすくおうとがんばります。水族館が、もう一度オープンするまでのお話です。



# こんげつのとくしゅう

## うみ 海へ行こう

夏休みは海へ行きませんか？海は、海水浴かいすいよくや  
いそあそびなど、楽しいことがいっぱい！

「お化けの海水浴」 (えほん) 川端 誠 作 (BL出版)

一つ目小僧こぞうや海ぼうずが集まる、お化けだけの浜辺はまべ。何がはじまるのかな？

「うみのべっそう」 ★ 竹下 文子／作 佼成出版社

おじさんのべっそうは、海の中の大きな巻まきがいの中にありました。



「人魚の島で」 ★★ シンシア・ライラント／作 偕成社

海辺うみべでひろった美しい人魚のくし。ぼくは、人魚がくしをとりにもどってくる  
ことを期待きたいしてまつことにしました。

「貝の図鑑&採集ガイド」 (ちしきの本) 池田 等 作 (実業之日本社)

271種類しゅるいの貝がしょうかいされています。ひろった貝の名前を調べてみよう。

## シリーズしょうかい



「すみれちゃん」シリーズ 1～4 (ものがたり) ★

石井 睦美／作 偕成社

すみれちゃんは、おしゃまでおしゃれな女の子です。  
パパとママ、そして小さな妹かりんちゃんとのたのしい  
まいにちをのぞいてみませんか。

### 「すみれちゃん」

すみれちゃんは、じぶ  
んの名前なまえがきにいきりま  
せん。花の妖精ようせいの名前  
“フローレンス”がいい  
と言って、パパやママを  
こまらせます。

### 「すみれちゃんは 一年生」

一年生になったすみ  
れちゃん。さっそく、す  
みれ色のランドセルで  
入学式に行きました。で  
も、ランドセルの子は  
自分じぶんひとり一人!?

### 「すみれちゃんの あついなつ」

せっかくの夏休みなつやすな  
のに、すみれちゃんは、  
かりんちゃんかりんちゃんのせわば  
かりなのです。おこった  
すみれちゃんいえでは家出し  
ます。

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273